

NEWS RELEASE

 IoTなどを活用し生産革新を実現
受配電システム製作所「真空バルブ・真空遮断器新工場」建設のお知らせ

三菱電機株式会社は、受配電システム製作所（香川県丸亀市）に、国内トップシェアを持つ真空バルブ^{*1}および真空遮断器^{*2}を集約して生産する「真空バルブ・真空遮断器新工場」を建設します。IoTなどを活用した「e-F@ctory コンセプト^{*3}」の導入により生産革新を実現し、2025年までに真空バルブ単品と真空遮断器の売上120億円以上を目指します。2018年1月に建屋が竣工し、同年7月から本格稼働を開始する予定です。

*1 真空バルブ：真空遮断器の主要部品

*2 真空遮断器：配電盤等に搭載し、故障時に短絡電流等を遮断し回路を保護する機器

*3 e-F@ctory コンセプト：サプライチェーン・マネジメントおよび開発設計の全業務プロセスを改善し、トータルコストを削減する考え方



真空バルブ・真空遮断器新工場 完成イメージ

新工場建設の背景・狙い

真空バルブ・真空遮断器の市場は、再生エネルギー関連設備の導入や電力・鉄道・工場等での既設配電設備の更新などにより、国内外において中長期的に需要拡大が見込まれます。当社は今回、新工場建設により、真空バルブ・真空遮断器の需要拡大に対応できる生産能力の確保と製品競争力の強化を実現し、さらなるシェア拡大と海外での新規市場開拓を図ります。

新工場の特長

- 「e-F@ctory コンセプト」の導入による受注から組立・出荷までの生産情報の一元化により、生産性・品質の改善サイクルを高速化し、納期の短縮と高品質・高効率な生産を実現
- 敷地内に分散していた真空バルブ生産工場と真空遮断器組立工場を集約し、真空遮断器の製造を部品加工から組立・出荷まで一貫して行うことにより生産性を向上
- 最新の当社製省エネ機器を導入するとともに、エネルギーロスの見える化などで消費エネルギーを削減するなど、地球環境に配慮

新工場の概要

所在地	香川県丸亀市蓬莱町8番地
建屋面積	延床 約14,200m ²
構造	鉄骨S造、地上2階建
用途	生産・試験エリア、事務所・設計エリア
主な生産品目	真空バルブ、真空遮断器
竣工予定	2018年1月(2月から設備移設、7月から本稼働開始予定)
環境・省エネ対策	年間CO ₂ 排出量約280t削減 ・高効率機器の採用(LED照明・空調機・変圧器) ・太陽光発電(200kW)※将来600kWまで拡張予定 ・めつき系埋設ピットの2重化他

お客様からのお問い合わせ

三菱電機株式会社 受配電システム製作所
 〒763-8516 香川県丸亀市蓬莱町8番地 TEL 0877-24-2611

報道関係からの
お問い合わせ先

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 TEL 03-3218-2332 FAX 03-3218-2431
 三菱電機株式会社 広報部